

会報 しんせき 第 80 号

令和元年12月20日

発行責任者

新聞コミュニティ協議会
会長 渡辺 和典

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

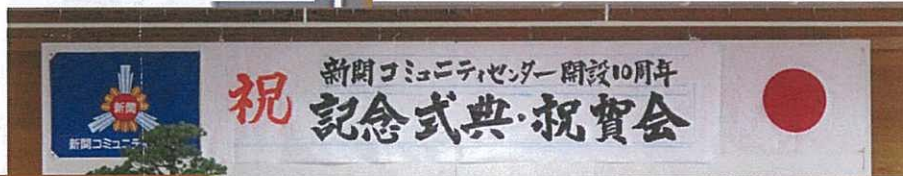
新聞コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新聞コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)



五泉市議会議員長林茂様

秋葉区長夏日久義様



初代新聞コミ協会長
瀬戸節彦様



秋葉区コミ連会長
佐藤喜代一様



前新潟市議会議員
渡辺 仁様

社会福祉協議会会長
羽生隆夫様

新聞コミュニティセンター 開設十周年を迎え 式典・祝賀会 開催

12月7日(土)

式典での会長あいさつ

感謝の言葉を申し上げます。

新聞コミュニティセンターが開設されて十年という節目の年を迎えました。令和元年という巡り合わせの良い年であります。本日は公私ともに大変ご多用の中、秋葉区長夏日久義様、五泉市議会議員長林茂様をはじめ多くのご来賓の皆様、今も変わらぬ親交の厚い四ヶ村や羽下の皆様、地域の皆様からご臨席を賜り、新聞コミュニティセンター開設十周年記念式典を行うことができました。ここに厚く御礼申し上げます。

この素晴らしいコミュニティセンターを作っていただきました新潟市に感謝しつつ、管理運営を任せました我々新聞コミュニティ協議会は、地域の宝物であるこのセンターの果たす役割、建設に至った経緯や願いを重く受け止め、新潟市ご当局のご指導をいただきながら運営してまいりました。おかげさまで皆様から親しまれ、気持ちよく利用して頂いております。

今年度四月からはこの施設を使った「放課後児童クラブ」も開設され、館内に元気な子供たちの声が響いております。

新聞コミュニティセンターは、風光明媚、自然豊かな新聞平野の真ん中にあります。大河阿賀野川・清流早出川、改修なった能代川に囲まれ、西に秋葉丘陵と小口山、東に五頭連邦を望み、そして、新聞小学校と広いグラウンド、認定こども園おひさまが隣接するという極めて恵まれた環境に位置しています。

今後も、地域の皆さまや利用される方々に寄り添った運営に徹し、文化、福祉健康、教育、スポーツ活動などの拠点としての役割が果たせるよう頑張る所存です。今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます、感謝の言葉と致します。

令和元年十二月七日

新聞コミュニティ協議会会長 渡辺和典



五泉甚句で大きな輪(和)できる

伊藤正直様(羽下)の美声と素朴な太鼓の音が響く中、四ヶ村と羽下の皆様による「五泉甚句」。あつという間に踊りの輪が館内いっぱいになりました。

かつて夏祭りや盆踊りはどこの集落も「五泉甚句」を踊ることが多かったようです。70歳以上の方ならほとんどの方が踊った経験があります。なつかしい五泉甚句の歌と踊りに酔いしれ笑顔の連発でした。



□今回の新聞コミュニティセンター開設10周年事業の実施にあたり、伊藤正直様(羽下)、村田邦夫様(四ヶ村)から多大なるお力添えをいただきました。

◇記念誌の作成にご寄稿いただいた皆様ありがとうございました。
◇至らぬところ、不手際も多々あったかと思いますがご理解をいただき感謝申し上げます。

万感の思いで 「中学校校歌」「小学校校歌」 「ふるさと」を熱唱

何時までも踊り続けたい。もっとこの良き時間を共有したい。しかし、お開きの時間も近づいてきました。

ハート&ドリーム様によるピアノ伴奏と指揮で懐かしい新聞中学校校歌・新聞小学校校歌をみんなで歌いました。何十年ぶりに歌った方も大勢おられたことと思います。

そして、「ふるさと」で締めくくりました。♪ウサギ追いしかのやま・・・こぶなつりしかの川・・・
忘れがたき ふるさと (しんせき)
思いつる ふるさと (しんせき)
水は清き ふるさと (しんせき)
途中から、しんせき と置き替えて歌っていただきました。

今ほどの式典では、新聞コミュニティセンター開設十年という節目を祝い、また新たな出発を祈念し、六郷神楽保存会様、羽下照明会様による見事な神楽舞を披露していただきました。心が洗われるような荘厳かつ厳粛な空気が館内に流れ、式典が一段と引き締まるものとなりました。感謝申し上げます。

照明会様からは、十年前のコミュニティセンター開館式にもこの場で舞っていたいただきました。感慨深いものがあります。

さて、新聞村はかつて町村合併により分村という経緯があったものの親睦交流、深い絆はずっと続いてきました。その一つに四ヶ村・羽下の皆さんと一緒に新開ゴルフクラブが結成され、新聞コミ協杯ゴルフ大会も行われています。

少子高齢社会を迎え課題山積の今日、新聞も例外ではありません。かつての同胞であり同じ学校に通った皆様を交え、これからの新聞のありようを、示唆いただく機会にしたいと思います。

ラグビーワールドカップで「ワン・チーム」という言葉が一躍有名となりました。新聞はまさに「ワン・チーム」です。祝賀会では和やかに旧交を温めてくださいますようお願いします(祝賀会会長挨拶の要旨)

楽しい輪 I・II様、アイナ様、フレンズ様による「ふるさと新聞」の踊りで開宴



旧交温める

祝賀会



六郷神楽保存会様



新聞コミュニティセンター開設10周年 記念式典 祝賀会



羽下照明会様



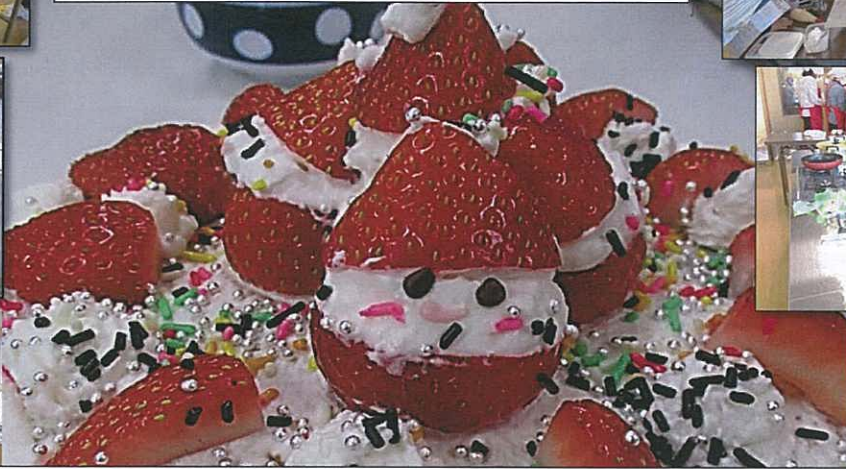
見事な神楽舞

ありがとう

ございました

世代間交流事業

クリスマスクッキング教室に大勢参加



食生活改善推進委員様・栄養士様・ボランティア様・福祉健康部員様ご協力ありがとうございました。

◆12月1日(日)、伝統の世代間交流クリスマスクッキング教室を今年も小学校の家庭科室をお借りして行いました。昨年は参加者が少なく2次募集でようやく開催できました。今年はどうかと主催者の伊藤文化教養部長も心配しておりましたが、たくさんの方から参加していただきました。

子どもたちのケーキ作りは実に楽しそうでした。工夫された薄味の調理、濃い味に慣れた大人にとっては心配でしたがまったく違和感なし。調理方法でこんなに塩分控え目でもおいしくいただけることを学びました。

小学校で防災教室開催

新関小学校では保護者やコミ協役員、地域の方を招き、子供たちと一緒に考える防災教室を行いました。

地震発生時の初期行動、災害に対する過程での準備や約束事を中心とした講演。地域ごとに分かれて避難場所の確認・避難経路・危険個所などを話し合いました。

保護者や地域の方からは、地域、学校、児童、保護者、コミ協が一体となった避難訓練や学習が必要で、定期的に継続することが大切との感想が出されたということです。

(詳細略)

これらの感想を踏まえ次年度の防災計画を検討したいと思います。



ご寄付に感謝

4月に開設した「しんせき児童クラブ」に役立ててほしいと「新関の教育を考える会」様(代表:土田久様)からご寄付をいただきました。

地域の教育・子供たちを思う皆様のお気持ちに深く感謝申し上げます。子供たちのために有効に使わせていただきます。

風水害がこれまでになく多発した年でした。災害の規模も尋常ではなく大きなものでした。新関コミュニティ協議会においては、例年になく多忙な年でしたが、皆様のご支援のおかげで無事に乗り切ることができました。厚く御礼申し上げます。